

国際理解教育 / 開発教育 学習指導 (活動) 案

【実践者】

授業者氏名	福岡 孝一	学校名	京都市立 醍醐 中学校
教科 (科目)・領域	英語科	対象学年 (人数)	1年 3組 (35名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2023年 12月 11日 (7 時間)		

【実施概要】

1. 単元名 (活動名) : NEW HORIZON 1 UNIT 9 Think Globally, act locally						
2. 実践する教科・領域 : 英語科		3. 学習領域				
			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択		歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) :						
世界や地域の問題について伝えるために、自分がしたいことや人やものの様子などについて、概要を捉えたり、思いを伝えたり書いたりすることができる。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	不定詞 (名詞的用法) や look + 形容詞を用いた文の特徴や、決まりに関する事項を理解している。				
	②思考力、判断力、表現力等	将来の夢などについて伝えるために、世界的な問題や地域の問題などについて書かれた文章を読んで、要点を捉えている。また、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。				
	③学びに向かう力	将来の夢などについて伝えるために、世界的な問題や地域の問題などについて書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。また、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>本単元では、登場人物のメグが目標とする人についてクラスでスピーチをする場面と、同じく登場人物の海斗とメグが国際交流イベントに参加して、世界的問題についてのプレゼンテーションを聞く場面が教材となっている。教材の内容について、「はるか遠くで起こっていること」という認識の生徒が大半であることが予想されるが、JICA リソースの映像資料や英語という言葉を通じ、自分事として捉えることの重要性、世界で起こっている問題について関心を持つことの大切さを知る良い機会とするため、この単元を設定するに至った。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>名詞や動詞、形容詞という品詞の概念を理解できていない生徒が一定数おり、本時の言語材料である want to の後ろには動詞を置き、look の後ろには形容詞を置くという、基本的な文法構造が定着していない可能性も考えられる。また、たとえ定着していたとしても、動詞を置く場合には、study, play, have, like, 形容詞を置く場合には happy, hungry など、生徒間で内容が重複し、単純な英文により表現の幅が乏しくなってしまうことも考えられる。英語学習が本格的にスタートした1年生という事情もあり、本時で予想される生徒のつまずきとしては、語彙力不足が挙げられる。</p>					

【教材観】

単元名のThink globally, act locallyは、国際問題や環境問題に関連して使われる「地球規模で考え、足元から行動せよ」というスローガンである。よく知られたスローガンであるが、これだけ聞いても生徒はピンと来ないかもしれない。Unit冒頭では、軽く触れる程度にとどめて、本文の内容などを踏まえ、学習の最後で再びこのタイトルに立ち戻っても良いと思われる。その際、生徒一人ひとりにThink globally, act locallyが何を意味するかを考えさせてみるのも良い。単元末のUnit Activityでは、身近な問題に限らず、世界に視野を広げることで英語を学んでいる意義を再確認したい。

【指導観】

本単元の言語材料は、不定詞の名詞的用法とlook + 形容詞となっている。名詞的用法の中でも、今回の言語材料であるwant to ～は、小学校でも学習した馴染みのある表現であり、Unit 3でも表現として取り上げてきたので、早い段階での定着が期待される。ここでは不定詞の名詞的用法でとらえ直し、様々な動詞で応用ができるよう、練習を重ねていきたい。ただし、2年生でも不定詞を学ぶので、細かい解説や用法の区別などに終始しないように注意しなければならない。lookについては、後ろに置く形容詞のバリエーションを増やす活動を、帯活動やペア活動で取り入れたい。

本時で予想される生徒のつまずきに対する手立てとして、既習の動詞と形容詞をリストアップしたワークシートの活用が考えられる。語彙のバリエーションを増やすことが目的となるが、発表の際に聞き手が理解できる語を使用しなければならないことに注意が必要である。そのため、生徒が英文を作成する様子を観察し、未習の語を用いた場合については、和英辞書等も活用し、既習の語に言い換えが可能かどうか検証させる必要がある。

7. 単元計画 (全 7 時間)

※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更してください。

時	ねらい	学習活動	資料など
1	したいことやしようとしていることを説明することができる。	① 帯活動【指導者とのやり取り】 ラインゲームによる、動詞の復習。 ② P. 87 Enjoy Listening【聞くこと】 発問を意識しながら対話を聞き、概要を捉える。 ③ P. 88 Preview【聞くこと】 発問を意識しながら、Unit 9の概要を捉える。 ④ P. 89 新出文法の導入・練習【書くこと】 ⑤ アクティビティ【ペア活動でのやり取り】 ⑥ P. 89 新出語彙・小学校の単語の導入	教科書付属新出文法 導入映像資料 ・want to ～ ・try to ～
2	将来の夢や希望を伝えるために、したいことやしようとしていることを伝えることができる。	① 帯活動【ペア活動でのやり取り】 国旗を見て、即興でのやり取りに取り組む。 ② 導入 (JICA リソース) ③ P. 89 新出語彙・小学校の単語の確認 ④ Story【聞くこと】 P. 89の発問も意識しながら、Story 1の概要を捉える。 ⑤ Story【読むこと】 「聞くこと」で理解しきれなかった内容を中心に、Story 1の詳細を読んで理解する。その後音読に取り組む。 ⑥ 振り返りワークシート [不定詞 (名詞的用法)] ⑦ Practice【書くこと】 将来の夢や希望について書く。	JICA リソース 【アフリカ・教育】 アフリカ開発教育用教材「みんなが知らないアフリカのこと」

3	行きたい国とそこでしたいことを伝え合うために、おたがいの考えをたずねたり答えたりすることができる。	① 帯活動【ペア活動でのやり取り】 国旗を見て、即興でのやり取りに取り組む。 ② P.91 Listen【聞くこと】 発問を意識して聞き、対話の概要を捉える。 ③ P.90 新出文法の導入・練習【書くこと】 ④ Speak & Write【話すこと】・【書くこと】 ペアで、お互いの行きたい国とそこでしたいことについてやり取りを行い、お互いに相手のことを紹介する文を書く。 ⑤ P.90 新出語彙・小学校の単語の導入	教科書付属新出文法 導入映像資料 ・Where do you want to go? ・What do you want to do?
4	相手の希望を知るために、したいことやする必要のあることをたずねたり答えたりすることができる。	① 帯活動【ペア活動でのやり取り】 国旗を見て、即興でのやり取りに取り組む。 ② 導入 (JICA リソース) ③ P.90 新出語彙・小学校の単語の確認 ④ Story【聞くこと】 P.90 の発問も意識しながら、Story 2 の概要を捉える。 ⑤ Story【読むこと】 「聞くこと」で理解しきれなかった内容を中心に、Story 2 の詳細を読んで理解する。その後音読に取り組む。 ⑥ 振り返りワークシート [不定詞 (名詞的用法)] ⑦ Practice【書くこと】 相手の希望を尋ねる英文を書く。	JICA リソース 【教育】世界につながる教室～授業で使える映像教材～ (水と世界・ルワンダ・国際協力) 5. 海をわたるプラスチックごみ
5	人やものの様子を説明するために、視覚的な判断を伝えることができる。	① 帯活動【指導者とのやり取り】 ラインゲームによる、形容詞の復習。 ② P.92 新出文法の導入・練習【書くこと】 ③ P.92 新出語彙・小学校の単語の導入 ④ 導入 (JICA リソース) ⑤ Story【聞くこと】 P.92 の発問を意識しながら聞き、Story 3 の概要を捉える。 ⑥ Story【読むこと】 「聞くこと」で理解しきれなかった部分を中心に、Story 3 の詳細を読んで理解する。その後音読に取り組む。	教科書付属新出文法 導入映像資料 ・look + 形容詞 JICA リソース 【教育】世界につながる教室～授業で使える映像教材～ (水と世界・ルワンダ・国際協力) 4. ルワンダ村落部の子どもの一日
6 本時	SDGs をベースに、世界や地域の問題を伝えるため、したいことやする必要のあることについて、自分の思いを表現することができる。	① 帯活動【ペア活動でのやり取り】 国旗を見て、即興でのやり取りに取り組む。 ② P.92 新出語彙・小学校の単語の確認 ③ Story【読むこと】 Story 1～3 の本文を通して読み、Unit9 の概要を再確認する。 ④ 世界的問題や地域の問題について、現状や自分の思いを多くの人に知ってもらうためのパワーポイントを作成する。 ・英文の作成 (個人) ・書く内容を広げたり深めたりし、パワーポイントにまとめる。(個人)【書くこと】	
7	SDGs をベースに、世界や地域の問題を伝えるため、したいことやする必要のあることについて、自分の思いを他者に伝えることができる。	① 帯活動 (Small Talk) ※ 前時のプレゼンテーション作成が終了しなかった場合、個人で続きに取り組む。 ② 自分の作品をテレビに表示しながら発表、聞き手は聞き取った内容を記述し、発表の内容を評価する。【発表】 ③ 振り返りワークシート [look + 形容詞]	生徒自作パワーポイント資料

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
帯活動 (7分)	① アフリカ国旗クイズペア活動 2人組の活動。1人は顔を伏せ、1人はテレビを見る。テレビを見た生徒は、テレビ画面に表示された国旗を英語で説明し、顔を伏せていた生徒は、どの国旗がテレビに表示されたのか、右の資料を見ながら答える。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策：向かい合ってペアでの活動ができないため、教員と生徒による活動に変更する。 	
展開 (8分)	② 新出語彙・小学校の単語の確認・発音練習 (3分) ※ NEW HORIZON デジタル教科書付属のフラッシュカードを用いて、前時に導入した単語の意味確認と発音練習。 ③ Story【読むこと】(5分) Story 1~3の本文を通して読み、Unit 9の概要を再確認する。 ※ Story 1は前向き、Story 2は左向き、Story 3は後ろ向きで、変化を持たせた音読活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書ではなく、テレビ画面に表示される英単語を見ながら発音するよう指導。 ・感染防止対策：音読活動ができないため、教師のモデルリーディングを聞き、指さしながら目で追う。 	
発展1 (20分)	④ SDGsをベースに、世界的問題や地域の問題について、現状や自分の思いを知ってもらうため、3~4文程度の英文を作成する。 Step 1 (テーマの選択)：ワークシート左下のSDGs表から1つを選択 Step 2 (具体的内容)：☆ ゴミ問題 ☆ 節水 ☆ 防災 ☆ 食生活 ☆ 公共のマナー など Step 3 (英文の作成)：リストアップされた動詞や形容詞を用いながら、ワークシートに英文作成 (例) ① We need to save the Earth. ② I always carry a reusable bag. ③ Let's stop using a plastic one.	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の幅を広げるため、これまでに学習した動詞と形容詞を、ワークシートにWord Boxとしてリストアップしている。 ・後日の発表活動において、聞き手が内容を理解しやすいよう、できるだけ既習の単語、もしくはWord Boxの単語を活用するように指導。 	
発展2 (15分)	⑤ 書く内容を広げたり深めたりし、パワーポイントにまとめる。 Step 1：見出しの入力 Step 2：英文の入力 Step 3：資料画像の添付 Step 4：プレゼン練習	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション機能を利用するなど、こだわりすぎないよう指導。 	

<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分満足できる状況（A）：不定詞（名詞的用法）や look + 形容詞を用いて、自分の思いを表現するとともに、ほぼ正確に書くことができる。 ・おおむね満足できる状況（B）：誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。 ・努力を要する状況（C）：「B」を満たしていない。
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>本単元では、ケニアが題材として取り上げられている。ケニアをアフリカ大陸のゲートウェイとして捉え、本単元学習期間中に、複数時間を使ってアフリカ国旗を英語で伝えあう帯活動に取り組む予定である。国旗の持つ意味や成り立ちまで学習する機会は設定していないが、アフリカ大陸やそれぞれの国が抱える課題に対し興味・関心を抱く効果、社会科との横断的な学習効果が期待される。</p>
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>本時の生徒の作品をプリントアウトし、校内に掲示する予定である。他学年生徒や保護者、視察等で来校される外部の方々にも、この取り組みを積極的に発信したいと考えている。</p>

【自己評価】

12. 苦労した点	多くの生徒にとって、日本語で文章を表現することにもハードルが高い課題となってしまったようで、授業時間内に英語で表現できるよう、授業者一人で指導することに苦労した。
13. 改善点	生徒に見本を見せなければ、ゴールがイメージできない生徒がいる一方で、見本を見せることによって、それに似たような形で作品作りが進み、生徒のオリジナリティが失われてしまったことが改善点として挙げられる。
14. 成果が出た点	同年代の学生が登場していた JICA リソースの映像資料は、興味・関心を持って視聴することができ、世界・地域が抱える様々な問題に目を向けることができた。
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<p style="text-align: center;">＜生徒感想＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が知っている単語や文法のみで、国際問題を訴えるのは難しかった。 ・地球が抱える問題は、まず自分自身が無関心であってはいけないと感じた。 ・映像資料を見て、環境問題が少しイメージできた。 ・米から作られたストローがあるなんて、初めて知った。 ・日本はポイ捨てもほとんどなく、きれいな街だとあらためて感じた。 ・より良い地球を作ることのできる人になりたいと思った。 ・とにかくウミガメを守りたい。 <p style="text-align: center;">＜生徒作品＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ZERO HUNGER</p> <p>Look at this picture He looks hungry</p>  <p>Let's stop wasting food I want to help people</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; background-color: #003366; color: white;"> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">Let's stop littering</p> <p>Don't litter. I want to clean the ocean. Let's protect sea creature.</p>  </div> </div>

	<p>Look at this picture.</p> <p>LET'S NOT USE A CAR</p> <p>He looks very tired and hungry.</p> <p>I feel sad.</p> <p>I want to stop global warming.</p> <p>So I want to reduce carbon emissions.</p> <p>Let's not use a car.</p> <p>Let's use a bike or walk.</p> 	<p>LET'S stop plastic strow</p> <ul style="list-style-type: none"> • Look at this picture. • They are looks sad. • I feel sad. • I want to use a rise strow. 
	<p>Don't litter</p> <p>Look at this picture.</p> <p><i>This sea turtle is caught in a net.</i></p> <p><i>They need a rich ocean.</i></p> <p><i>What can we do?</i></p> 	<p>NEED YOUR HELP</p> <p>There are many people in the world But they suffer with poverty I need your help to save them PLEASE HELP THEM</p> 
	<p>Not litter.</p> <p>Look at this picture.</p> <p>Help important fish.</p> <p>Let's stop litter.</p> <p>Let's use reusable bag.</p> 	<p>Let's stop GLOBAL WARMING</p> <p>Look at this picture.</p> <p>It looks dangerous.</p> <p>I want to save the Earth.</p> 

16. 授業者による自由記述

今回の研修が無ければ、このような教材を用いてここまで深く考えることはなかった。それは生徒も同様で、教科書を通じてアフリカに関する知識を獲得し、世界や地域が抱える問題をアウトプットすることで、自分の考えをより深いものにすることができたように思う。冬季休業前懇談で学校を訪れた保護者の方々にも、生徒の作品を見てもらうことができたのは、非常に効果的であったと感じる。国際理解教育を展開していく上で、保護者に訴えかけていくことは、生徒に訴えかけるのと同様に重要であると改めて考えることができた。

参考資料：

これから示される
アフリカの国旗を
英語で説明しなさい

ただし、答えを
言ってはいけません

Left side students,
close your eyes.



Cameroon(カメルーン)



Right side students,
close your eyes.



Senegal (セネガル)



UNIT 9 Think globally, act locally

Class () No. () Name ()

Today's Goal : SDGs をベースに、世界や地域の問題を伝えるため、したいことや
 する必要があることについて、自分の思いを表現することができる。

Step 1 : 自分が英文で表現する SDGs のテーマを下の中から1つ選び、○で囲みましょう。

Sustainable = 持続可能な *Development* = 開発 *Goals* = 目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「貧困をなくそう」



「飢餓をゼロに」



「すべての人に健康と福祉を」



「質の高い教育をみんなに」



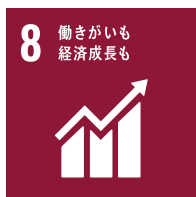
「ジェンダー平等を実現しよう」



「安全な水とトイレを世界中に」



「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」



「働きがいも経済成長も」



「産業と技術革新の基盤をつくろう」



「人や国の不平等をなくそう」



「住み続けられるまちづくりを」



「つくる責任 つかう責任」



「気候変動に具体的な対策を」



「海の豊かさを守ろう」



「陸の豊かさを守ろう」



「平和と公正をすべての人に」



「パートナーシップで目標を達成しよう」



Step 2 : 具体的なメッセージや内容を考えましょう。

自分が選んだ 左表の SDGs のテーマ	Japanese () English ()
具体的なメッセ ージや内容など	例 ごみ、節水、防災、食生活、公共の場でのマナーなど

Step 3 : 教科書 P.93 と下の Word Box を参考にして、自分の思いを 3~4 文の英文で表現してみましょう。

タイトル _____

① _____

② _____

③ _____

④ _____

< Word Box >

名 詞 : global warming = 地球温暖化 plastic bag = レジ袋 reusable bag = エコバッグ
 plastic bottle = ペットボトル water bottle = 水筒 the Earth = 地球 animal = 動物
 people = 人々 idea = 考え mountain = 山 life = 生活、生命 nature = 自然
 family = 家族 problem = 問題 history = 歴史 clothes = 衣服 future = 未来

動 詞 : litter = ボイ捨てる save = ~を節約する、救う waste = 無駄にする work = 働く
 help = ~を手伝う、助ける buy = ~を買う understand = ~を理解する worry = ~を心配する

形容詞 : important = 大切な interesting = 興味深い favorite = お気に入りの new = 新しい
 national = 国の thirsty = のどが渴いた famous = 有名な beautiful = 美しい
 local = 地元の foreign = 外国の useful = 便利な bad = 悪い difficult = 難しい

熟 語 : want to ~ = ~したい keep ~ clean = ~をきれいに保つ have good manners = マナーを守る
 prepare for ~ = ~に備えて準備する stop ~ ing = ~することをやめる take care to ~ = ~に気を付ける

National flags of Africa

 アルジェリア ALGERIA	 エチオピア ETHIOPIA	 アンゴラ ANGOLA	 エリトリア ERITREA	 ウガンダ UGANDA	 エジプト EGYPT	 エスワティニ ESWATINI	 ザンビア ZAMBIA	 シエラレオネ SIERRA LEONE	 ジブチ DJIBOUTI	 ジンバブエ ZIMBABWE	 スーダン SUDAN
 コートジボワール IVORY COAST	 カメルーン CAMEROON	 ガンビア GAMBIA	 エリトリア ERITREA	 ガーナ GHANA	 カーボベルデ CAPE VERDE	 ガボン GABON	 赤道ギニア EQUATORIAL GUINEA	 セネガル SENEGAL	 ソマリア SOMALIA	 タンザニア TANZANIA	 ナイジェリア NIGERIA
 ボツワナ BOTSWANA	 モザンビーク MOZAMBIQUE	 マダガスカル MADAGASCAR	 モーリシャス MAURITIUS	 マラウイ MALAWI	 マリ MALI	 南アフリカ SOUTH AFRICA	 ナミビア NAMIBIA	 ニジェール NIGER	 ブルキナファソ BURKINA FASO	 ブルンジ BURUNDI	 チュニジア TUNISIA
 リベリア LIBERIA	 ルワンダ RWANDA	 レソト LESOTHO	 モーリタニア MAURITANIA	 モロッコ MOROCCO	 サントメ・プリンシペ SAO TOME AND PRINCIPE	 中央アフリカ CENTRAL AFRICAN REPUBLIC	 チャド CHAD	 コンゴ REPUBLIC OF THE CONGO	 コンゴ民主共和国 DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE CONGO	 ケニア KENYA	 サウス・スーダン SOUTH SUDAN

< Example >

- 「その国旗は3色です。」
The national flag has three colors.
- 「その国旗の真ん中には星があります。」
It has a star in the center.
- 「その国旗は1つの三日月があります。」
It has a crescent moon.

クレセント

などの表現を使ってみよう！